

# カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成・実施方針)

## 基盤教育科目 カリキュラム・ポリシー

藤女子大学は、本学の「学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）」に基づき、「知識・技能」、「思考力・分析力」、「問題解決力・実行力」、「コミュニケーション力・表現力」、「人格的な力」を学生が身につけることができるよう、学士課程においては「基盤教育科目」及び各学部・学科に設置する「専門科目」を大きな柱とし、それぞれの学部・学科の教育目標にあわせたカリキュラムを次の方針に則り体系的に編成する。

1. 文化、思想、価値観の多様性を受容するとともに、大学での学修の基盤となる知識・技能を身につけることができるよう、すべての学生が履修する共通の科目として、以下のような科目群から成る「藤女子大学基盤科目」を開設する。各科目群の主な学修目標は次のとおりとする。
  - (1) キリスト教的愛と奉仕、寛容の精神をもち、グローバルに活躍できる力の基盤を身につけることができるよう、「建学の理念科目」を開設する。
  - (2) 卒業後も視野に入れて、自ら主体的に学修し活動する態度とそれに必要な能力を身につけることができるよう、「スタートアップセミナー」、「教養実践科目」（キャリア形成、数理・データサイエンス・AI教育、身体と科学）、「藤プロジェクト」を開設する。
  - (3) 多分野にまたがる諸課題について理解する能力を身につけることができるよう、「教養コア科目」を開設する。
  - (4) 異なる文化・言語をもつ人々と外国語で円滑かつ公正なコミュニケーションができる能力を身につけることができるよう、「外国語科目」を開設する。
2. 深い学識の涵養を通して現代社会における様々な課題を解決する能力を身につけることができるよう、各学部・学科に「専門科目」を開設する。
3. 「基盤教育科目」及び「専門科目」の授業は、学生の主体的学修を促し教育効果を高めるため、学修内容に応じて、講義・演習・実験・実習・実技などの授業形態、アクティブラーニング・体験型学習・多様なメディアを高度に利用したオンライン授業などの授業方法、 Semester制・クォーター制などの開講形態を適宜組み合わせで行う。
4. 成績評価については、厳正な評価を行うことを目的としてアセスメント・ポリシーを設け、これを公表するとともに、学生の学修成果の把握、分析に努め、カリキュラムの改善に取り組む。